

教科目名 独語 (German)

学科名・学年 : 全学科 5 年 (教育プログラム 第 2 学年 ○科目)

単位数など : 選択 2 単位 (前期 1 コマ, 後期 1 コマ, 学習保証時間 4 5 時間)

担当教員 : 峯本敏男

授業の概要			
ドイツ語は現在、約 1 億人の使用人口を持つ世界十大言語の一つであり、その特徴は元々、英語とは姉妹語で共通点も多く、特に工学や学術分野において今なお重要な言語であることである。このようなドイツ語を学ぶ意義は大きく、授業を通して外国語学習の楽しさや面白さを体感させると同時に、英語圏とは異なる文化や考え方に触れながら、ドイツ語の基礎力の習得と共にこれからの技術者に必要な国際性と幅広い視野の育成を目指す。			
達成目標と評価方法		大分高専目標(G2), JABEE 目標(f)	
(1) ドイツ語が正確に発音できる。(定期試験と口頭試験・小テスト)			
(2) 初級文法の基礎を修得し簡単な会話ができる。(定期試験と演習)			
(3) 平易なドイツ語の文を読解し理解できる。(定期試験)			
回	授 業 項 目	内 容	理解度の自己点検
1	授業概要説明, ドイツ語概観	ドイツ語がどんな言葉か概説できる。	【理解の度合い】
2	発音 (1) アルファベット	アルファベットの文字が発音できる。	
3	発音 (2) 母音・複母音	母音と複母音の発音を練習する。	
4	発音 (3) 子音	子音の基本的な発音を理解し練習する。	
5	規則動詞の現在形, 基本文型 (1)	規則動詞の現在人称変化と基本文を学ぶ。	
6	基本動詞の現在形, 基本文型 (2)	動詞構文と基本文型の用法を理解する。	
7	名詞と冠詞 (1)	名詞の性と定冠詞の用法を理解する。	
8	前期中間試験		【試験の点数】 点
9	前期中間試験の解答と解説	不明確な部分を理解し基本を再確認する。	【理解の度合い】
10	名詞と冠詞 (2)	名詞と定冠詞の 1・4 格の用法を理解する。	
11	名詞と冠詞 (3)	名詞と不定冠詞の用法を理解する。	
12	不規則動詞の現在形	不規則動詞の現在人称変化を学ぶ。	
13	名詞の複数形	名詞の複数形と用法を理解する。	
14	名詞の 3 格	名詞の 3 格の用法を習得する。	
15	前期期末試験		
16	前置詞 (1)	前置詞の格支配を学ぶ。	【理解の度合い】
17	前置詞 (2)	前置詞の意味と用法に習熟する。	
18	人称代名詞 (1)	人称代名詞の変化と基本用法を理解する。	
19	人称代名詞 (2)	人称代名詞の注意すべき用法を理解する。	
20	再帰動詞	再帰代名詞と再帰動詞の用法を学ぶ。	
21	名詞の 2 格	名詞の 2 格の用法を習得する。	
22	不定冠詞類 (1)	所有冠詞を理解する。	
23	後期中間試験		【試験の点数】 点
24	後期中間試験の解答と解説	再確認と復習。	【理解の度合い】
25	不定冠詞類 (2)	否定冠詞を理解する。	
26	不定詞	ZU 不定詞の用法を理解する。	
27	分離動詞	分離動詞の基本構文と用法を学ぶ。	
28	助動詞	話法の助動詞の基本構文と用法を学ぶ。	
29	現在完了	現在完了形の構文と用法を理解する。	
29	副文, 関係代名詞	副文の構文と関係代名詞の用法を学ぶ。	
30	後期期末試験		【試験の点数】 点
30	後期期末試験の解答と解説		
履修上の注意	新しい外国語の学習として、基本文法の理解と発音の習得が最も重要であるため、授業に集中し積極的に発話練習に参加し、家庭においても日頃から音読練習を心がけること。		【総合達成度】
教科書	「ドイツ語の時間<ビデオ教材 恋するベルリン>」朝日出版社		
参考図書			
関連科目	英語 A, プロジェクト演習 II		
総合評価	達成目標の (1) ~ (3) について 4 回の定期試験と課題・小テストで評価する。 総合評価 = $0.8 \times (4 \text{ 回の定期試験の平均}) + 0.2 \times (\text{課題・小テストの点数})$ 。総合評価が 60 点以上を合格とする。		
			【総合評価】 点